

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年9月1日			
平成15年度	事業コード	32320	電話	042-769-8262
担当部課名	土木部	土木システム推進担当		
事務事業名	道路情報管理システム業務委託			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進める	事業開始年度
基本施策名	第3節	円滑な道路交通の確保	11年度
施策名	第2施策	道路管理の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

道路法

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

投資的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
多様化する道路形態等に対し道路管理の適正化が従来以上に求められているが、各種の道路の情報は膨大で、電子化による情報化は不可欠なものである。 道路(河川)台帳整備を中心とした道路財産の実態把握を図面と調書の一元管理において行い、情報の共有化と統合型GISの基幹システムとする。	市民事業者 庁内各課 対象数 16課(所・室)以上
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
道路情報管理システム業務委託 77,857千円 ・システム開発 ・市民窓口端末システム開発 ・当年度データ補正 ・データ機器保守料等 ・河川台帳管理システム基本設計 ・河川データ取得 測地成果2000対応業務委託 138,249千円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名 相模原市道路情報管理システム	本事業は、道路法並びに河川法に基づき調製する道路台帳・河川台帳の図面と調書を電子化により一元管理し、道路・河川の計画、整備、維持補修等の効率的な運用を図る。
計画年次 11年度～19年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	システム開発達成率	各年度のシステム開発 / (道路)17システム×100 (河川)11システム×100	開発するシステム数を成果として表す	0	11	4	11	25
	データ取得・整備達成率	データ取得・整備延長 / ×100 (道路)10000路線 1800Km (河川)3河川 17.5Km	現地データ取得・整備数を成果として表す	0	7	0	2	24

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	27,970	236,570	217,875	94,540	204,324
	人員・時間数	2人・年	3人・年	4人・年	7人・年	7人・年
	人件費	16,780	25,170	33,560	58,730	58,730
	その他経費					
	合計	44,750	261,740	251,435	153,270	263,054
特定財源	0	0	0	0	0	
対象数	16	16	16	16	16	
対象の単位あたり経費	2,796.9	16,358.8	15,714.7	9,579.4	16,440.9	

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低
		説明	道路情報管理システム開発の中で市民用窓口端末システムと測地成果2000対応業務は完了したが、「道路台帳調書システム」と「外部データ検証プログラム」は、現地データの取得に対する仕様書等の検討課題が生じたため今年度の開発を見送った。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 電子市役所の実現を目指し、膨大な道路・河川の情報を電子化により管理し、本市統合型GISの基幹システムとなる。業務管理の他、市民とのインターネットによるブロードバンド化を見据え、技術革新に対応できる柔軟な開発が必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	総合計画に掲げる施策である「道路管理の充実」に対し適正で効率的な管理を行うためには、本システムの構築は必要である。
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 本事業の一部は稼働し市民にも利用され、対費用効果をあげている。開発規模の大きなシステムであるので、コンピュータのソフト・ハード等の技術革新を研究しながら、開発の優先性を見極め予算の効率的な執行を図る必要がある。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	本システムは、道路管理者の事務の省力化が主目的であり、その一部の道路台帳図面と調書を閲覧のサービスを提供している。今後開発するシステムは、統合型GISの構築がスムーズに図られるよう庁内から広く情報を収集する必要がある。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 道路情報データをインターネットの利用により市民からの情報の収集と市民への情報の提供を検討する。	手段	現地データの取得について、経費の圧縮・工期短縮を行うために、TS地形測量により取得する方法と、既存の道路台帳図をデジタル化し、並びに現地調査及び部分的なTS地形測量の組み合わせにより経費削減を図る。
		削減額	76,000 千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		道路台帳の電子化については、平成14年度に国土交通省道路局における「道路台帳電子化検討委員会」に出席要請を受けるなど、本市の取組みは、全国の自治体の中でも先駆けており注視されている。 なお、本市では、このシステムの特許を申請しており、その特許については公開されている。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	本システム開発は、13年度主要事業査定でシステム開発先行で現地データの取得・整備費は後年度整備となった。また、14年度主要事業査定でシステムの稼働が19年度まで延長となった。このため、経費負担額の多い現地データ取得方法を研究し事業費の削減に努めた他、事業費の確保を図るため現地データ取得について国費の導入を要請し、国土交通省は16年度新規事業「平成地籍整備推進事業」として事業化した。この事業を導入する事により、統合型GISへ向けてのデータ整備も同時に行えることとなる。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

<ul style="list-style-type: none"> ・現地測量作業と道路境界確定作業とのデータの共有化について検討すること ・道路台帳の活用について検討すること
